

クラブ会長・クラブ幹事殿

謹啓 新春のお慶びを心より申し上げます。会長殿、幹事殿にはご健勝で新しい年をお迎えのことと慶祝に存じ上げます。私も2年ぶりに家族総出でハワイ・マウイ島にて新春を迎えることとなりました。去年は国際協議会に出席しており、家族はハワイから合流しておりました。ガバナーエレクト皆様の子供や孫たちは近隣のホテルで滞在し、会議や晩餐会の後、一家団欒を楽しんでおりました。癒しの場でもありました。

さて1月は〔ロータリー理解推進月間〕であります。(Rotary Awareness Month) 会員にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の、一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間です。そして今月はロータリアンがロータリー運動への理解を深め推進する月間でもあります。昔はなかった、この月間を嘆く先輩ロータリアンが多数おられます。各クラブが自治権に基づいて入会させた良質な人たちばかりがロータリアンであり、入会の時点で十分に吟味しているならばこのような月間は必要ないと思われれます。

もし必要ならばロータリークラブ自体の質の低下がもたらされるものとして嘆かれる諸氏が多いかと存じます。

昨今ロータリークラブの多様化がRIの長期計画に上げられ、又ロータリーの奉仕哲学は深遠にして、行き着くところを知らず、「これでよい」と言うことはありません。「ロータリーとは何か」を飽くなき追求を続けねばなりません。

この地球をひとつの地域社会と考え、第一に、地球は人類が生存するための唯一の天体であり、地域社会と考えられる。第二に、地球上における国民の永久的な繁栄は人々の相互の反映があつてのみ実現される。第三に、現在地球上に存在する人類が経済的・社会的に自立が出来るように働きかけると言うことは先進国民に課せられた倫理的義務と言えよう。それゆえにわれわれロータリアンは地球はひとつと言う考えで、地球もまたひとつの地域社会であると考えて〔地域を育み 大陸をつなぐ〕と言う奉仕の理想を今年度も尚一層実践していただきたいと考えます。

さて今、第2640地区の大きな話題でもあります、ガバナー指名について少し触れたいと思います。ガバナーの倫理規範として①ガバナーは当組織の使命を推進するため、ロータリーの職務において適用される法律および規定を遵守する。さらに、私生活において行動する際にも、ガバナーはロータリーの好ましいイメージを維持し、守るために、適用法を遵守すべきである。②ガバナーはRIの定款および細則の規定を遵守する。③ガバナーは、ロータリー章典に文書化されているとおり、RI理事会の定めた方針、規定を遵守する。これらの規定は優れた組織運営を確実にし、倫理的なイメージを推進することを目的としている。これらの方針を遵守することは、当組織を守りつつ、これらの理想に対する固い決意を実証することになる。…等々倫理規範とロータリー章典を遵守することが第一義的に求められています。

さて、ロータリーがその歴史105年を越えて、世界中に122万人もの会員を有する組織になったのは、他の奉仕団体にない職業理念を金看板に謳い、ロータリアンとしての高潔性・倫理性を前面に訴えながらの5大奉仕活動であります。

新世代部門、青少年交換プログラムにおいてはホームステイ先での15歳以上の犯罪歴を問うと言った厳しい現実の中で、新世代へ倫理観の指導をするべきロータリアンの在るべき姿が問われています。

今、この職業倫理を外して日本のロータリー、そしてRI第2640地区の未来はありません。私たちは、今後どうやって新しい、若い、また女性会員にこの2640地区を残していけるのか?今こそ会員皆さんが、真剣に考えるべき時なのです。ロータリー理解推進月間を機会に身近で起こったことについてまず考えてみようではありませんか?

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 米田真理子

2011年1月1日